

Stakeholder

第三者からのご意見



日本たばこ産業株式会社
飲料事業部
製品企画部長
渡部 聰 様

モノづくりはヒトづくり

ニアウォーターとして新ジャンルを築き上げた「桃の天然水」。今年は久しぶりにTVCM展開をおこない、弊社でも期待の商品となっております。以前「桃の天然水」がブレイクした時には、私は品質保証の担当として、またこの4月からは調達、生産技術の担当としてハルナビバレッジ様と一緒に仕事できるのも、何か不思議なご縁を感じずにはいられません。

さて、その間、事業を取り巻く環境は変化、消費者の方の品質に対する視線が厳しくなりました。食品工場においては、HACCP、新しい食品安全規格であるFSSC22000、フードディフェンス（食品防衛）等への取り組みが進んでおります。

ただ、「仕組みが整備されれば十分か?」というと必ずしもそうではありません。最後は「ヒト」です。「モノづくりはヒトづくり」。

私たちの飲料事業は、自社工場を保有しておりません。自社で開発した製品（レシピ）は、協力工場様の営業、購買、製造、品質管理等の各担当者（ヒト）と議論する中、量産化を進め、お客様に商品をお届けします。

その意味では、他にはないビジネススクールの開設を通じ、社員の「人財育成」に力を入れ、「ヒトづくり」を推進するハルナビバレッジとの協働は、我々の事業運営にとってもたいへん重要で、強力なパートナーシップの構築に繋がるものと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



ご意見をいただいて

ハルナマーケティング株式会社
営業ユニット第1営業セクション
ゼネラルマネージャー
佐伯貴之

桃の天然水から、ご縁が始まり、その業界屈指のロングセラー商品と共に、現在に至っております。その間常に、製品品質のみならず、生産に携わるそれぞれの「ヒト」の役割り・考え方についても、ご指導いただいて参りました。今後も引き続き、ご指導いただきながら、「強力なパートナー」の評価をいただくべく、全社一丸で進化への取り組みを続けて参ります。



Stakeholder

第三者からのご意見



株式会社ミツバ
代表取締役会長

日野 昇 様

理念の実践から構築するCSR活動

ハルナビバレッジ様とは、弊社が事務局を仰せつかっている桐生機器工業協同組合の工場見学会にご協力いただいたことが縁で、ともに群馬に創業した企業として、有意義な情報交換をさせていただいております。

弊社は、自動車のワイヤーモーターシステムやオートバイのスター ターモーター等の開発、製造、販売など、輸送用機器関連事業を中心とした事業を行っています。グローバルに拠点を展開している弊社には、地球環境やコンプライアンス、また企業倫理など多様な課題への対応が求められています。

そのような環境の中で、企業が存続、発展していくためには、事業活動を行うすべての従業員がCSR活動の意義を理解し、行動することが基本になります。そのため弊社では、「世界の人々に喜びと安心を提供する」という基本理念の実践によって、社会から信頼される企業になることを目標にCSR活動を行っています。また、活動の行動規範である"私たちが守るべき行動"を策定し、経営者自らが率先垂範とともに、日々の事業活動に生かしています。



本社社屋



ワイヤーアームとリンクモーター

ご意見をいただいて

ハルナロジスティクス株式会社
取締役兼常務執行役員
三原修一



今回御縁が有り弊社の生産現場をご覧いただき率直な御意見を頂きました事、厚く御礼申し上げます。お言葉頂戴しました通り現場で従事する1人1人の理解の元、社会的に意義のある「ものづくり」を実践して行きたいと思います。ハルナグループはこれからもステークホルダー様とのコミュニケーションを深め、その期待を認識すると共に飲料事業を通じて社会に貢献し、「世界に通じる企業」を目指して参ります。